

玄海原子力発電所の再稼働に関して広く意見を聴く委員会委員

意 見 書

今後のエネルギー政策として原発を低減していくと言われていますが、電力の需要に対する十分な供給能力、生産コストを鑑みれば、現在のエネルギー事情においては原発への依存度は高く、その必要性についてわからなくもありません。

玄海原発の再稼働について、地元玄海町では、玄海原発は管理面や地震、津波など自然災害に対する立地条件も含め、「日本で一番安全な原子力発電所」と考えていると言われていています。確かに原発操業に対する運転管理に対しては、現在の高度な技術によってその安全確保は確かなものと信じております。

しかしながら、漁協として意見を申したいのは、原発稼働による海洋へ放出される温排水の問題です。玄海原発が稼働停止してから、磯焼けしていた地区周辺の磯場にはクロモ等の海藻が見られるようになったとの報告もあり、原発稼働当時より周辺での漁獲も上がっている状況です。海は漁民の仕事場です。漁協の立場としては、漁民の生活を一番に考えなければなりません。

原発再稼働については、意見はありませんが、海洋環境を守る施策を講じ、共存共栄を考慮した再稼働を期待したい。

委員 川寄 和正